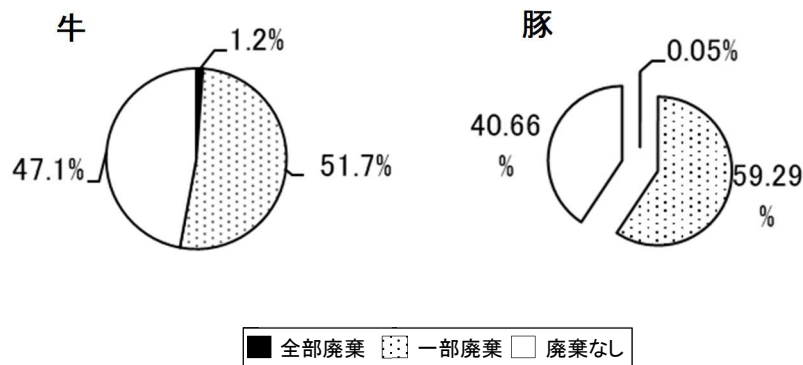


☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和5年10月～令和6年3月)

畜種	牛		とく		豚		山羊		
と畜検査頭数	2,373		4		33,204		5		
廃棄の区分	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	
実頭数	27	1,227	1	1	15	19,687	0	2	
廃棄の原因	放線菌症	0	3	0	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	416	0	0
	ジストマ	0	1	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	1	0	0	0	14	0	0	0
	敗血症	2	0	1	0	1	0	0	0
	尿毒症	2	0	0	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	9	197	0	0	0	53	0	0
	腫瘍	0	1	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	812	0	1	0	14,870	0	2
	変性萎縮	0	511	0	3	0	6,070	0	0
	牛伝染性リンパ腫	13	0	0	0	0	0	0	0
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	151	0	0	0	1,801	0	0	
計	27	1,676	1	4	15	23,210	0	2	

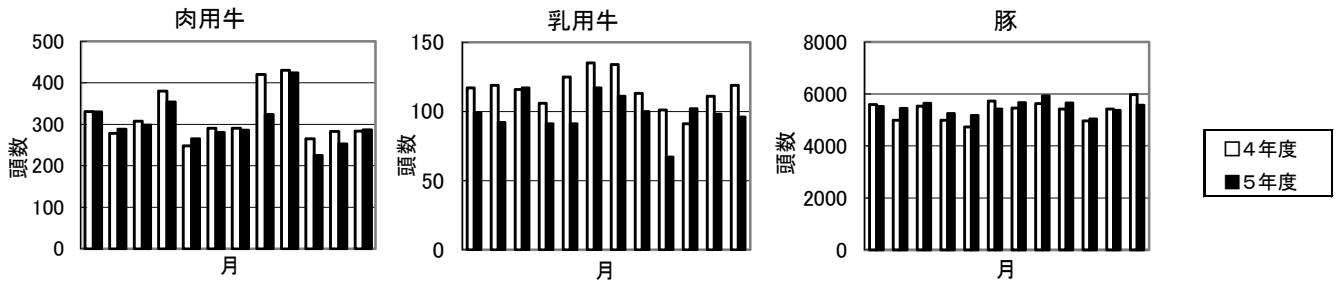
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。



◎と畜検査頭数の推移（令和5年度）（とくを除く）

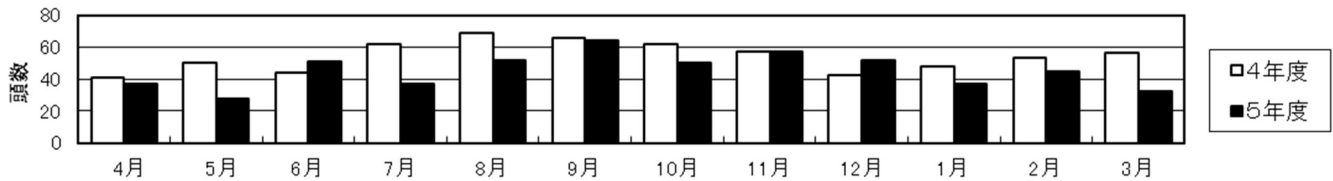
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度肉用牛	331	278	308	380	248	291	291	420	430	265	283	284	3,809
5年度肉用牛	330	288	298	354	265	281	286	324	424	225	253	287	3,615
前年比(%)	99.7	103.6	96.8	93.2	106.9	96.6	98.3	77.1	98.6	84.9	89.4	101.1	94.9
4年度乳用牛	117	119	116	106	125	135	134	113	101	91	111	119	1,387
5年度乳用牛	99	92	117	91	91	117	111	100	67	102	98	96	1,181
前年比(%)	84.6	77.3	100.9	85.8	72.8	86.7	82.8	88.5	66.3	112.1	88.3	80.7	85.1
4年度豚	5596	4989	5528	4982	4731	5721	5457	5633	5416	4964	5420	5969	64,406
5年度豚	5521	5448	5646	5252	5167	5414	5663	5927	5647	5032	5365	5570	65,652
前年比(%)	98.7	109.2	102.1	105.4	109.2	94.6	103.8	105.2	104.3	101.4	99.0	93.3	101.9

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	41	50	44	62	69	66	62	57	42	48	53	56	650
5年度	37	28	51	37	52	64	50	57	52	37	45	32	542
前年比(%)	90.2	56.0	115.9	59.7	75.4	97.0	80.6	100.0	123.8	77.1	84.9	57.1	83.4



10月～3月の病獣畜273頭の内訳は、牛およびとくが209頭、豚が59頭、山羊が5頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数（令和5年10月～令和6年3月）

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合 (%)
		なし	あり	
7:00～12:00	266	259	7	97.4
時間外(上記以外)	6	6	0	2.2
長期休場等	1	1	0	0.4
合計	273	266	7	

※令和5年7月から病畜の受付時間は平日の7時から12時となった。

※令和5年7月から土曜日の病畜は基本的に受け付けない事となった。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数（令和5年10月～令和6年3月）

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	31	5	4	103	36	7	4	4	1	8	70	273
(うち時間外)	(1)	0	0	(1)	(2)	(1)	(1)	0	0	0	(1)	(7)
頭数割合(%)	11.4	1.8	1.5	37.7	13.2	2.6	1.5	1.5	0.4	2.9	25.6	

☆検査室等における精密検査（令和5年10月～令和6年3月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数		
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子						病理組織	肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学			遺伝子	病理組織
牛及びとく	3	敗血症			24					3	0	豚	2	敗血症			17					1	1
	1	膿毒症	1							1	0		14	膿毒症	14							14	0
	6	尿毒症					6			2	4		0	尿毒症								0	0
	1	高度の黄疸					1			0	1		0	高度の黄疸								0	0
	9	高度の水腫	9							9	0		0	高度の水腫								0	0
	13	牛伝染性リンパ腫					13		126	13	0		0	豚丹毒								0	0
	0	腫瘍の多発								0	0		0	白血病								0	0
	33	計		10	0	24	0	20	0	126	28		5	16	計		14	0	17	0	0	0	0

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和5年10月～令和6年3月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	6	12	6	0	0	0	0	0	0	12
	病畜	209	418	206	3	0	3	0	0	0	415
豚	保留	24	48	24	0	0	0	0	0	0	48
	病畜	59	118	59	0	0	0	0	0	0	118
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	5	10	5	0	0	0	0	0	0	10

病牛の腎臓2検体において直接法陽性であった。

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	12	24	6	0
豚	54	108	54	0
鶏	1	2	1	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和5年10月～令和6年3月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、月齢24か月以上で、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所
 TEL：086-272-8399 FAX：086-273-2019
 E-mail：shokunikueiseikensasho@city.okayama.lg.jp
 郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。
 1～3ページについて、ホームページでも公開しています。
<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>